教員公募用 研究計画書（架空の記入例）

ソクレキ独自の架空記入例。氏名・所属・研究・業績・授業・数値は実在しません。

氏名	架空 由紀
応募先・対象公募	架空大学 情報デザイン学部 情報環境分野 教員公募（自由様式・架空）
研究課題	学生向け施設案内の情報構造を点検する方法の検討

背景・課題

施設案内は利用条件や手順が複数箇所に分かれる。読者が目的の情報にたどり着く過程を、案内文の構造から整理したい。

到達したい目的

見出し・手順・問い合わせ先の関係を表にし、案内文の改善候補を判断できる点検方法を作る。

方法と実施手順

まず公開済みの案内文を対象候補として整理し、使用許諾と公開範囲を確認する。次に分類基準を作り、複数の文書に試す。必要な場合は人を対象とする調査の要否と手続きを所属先に相談する。

実施計画と条件

時期ごとの計画

時期	行うこと
着任後 1〜3 か月	公開条件を確認した対象資料を選び、分類基準の試案を作る
着任後 4〜8 か月	複数の案内文に基準を試し、判断が揺れる箇所を記録する
着任後 9〜12 か月	基準を修正し、利用可能な範囲で成果と限界をまとめる

必要な環境・連携と実現条件

資料は公開条件を確認して選び、学内に利用手続きがある場合はその手順に従う。初年度は人を対象とする調査を含めず、既存設備、共同研究者、外部資金の確保を前提にしない。

期待する成果と検証

分類基準と適用上の限界を文章で示す。案内文の改善効果を示す場合は、別の検証が必要である。

応募先で行う理由

公募で求める学生向け情報提供の構造を扱う研究と情報整理演習の担当の双方に、案内文の構造分析を結び付けるため、この課題に取り組む。研究では見出し・手順・問い合わせ先の対応を整理し、授業では資料の出典と読み手を説明する課題に用いる。